

「家庭での子育て負担の軽減も必要」

政府が認可保育所の設置基準などの規制を緩和する方針を固めた。

待機児童の解消に向けての規制緩和は結構だが、大事な子どもを預けるのだから、その中身は慎重に吟味しなければならない。いくら規制が緩くなったからと環境が著しく悪い保育所ではさすがに困るし、最近は保育園を運営する会社の経営破綻もあった。

子どもたちが健やかに成長する為にも”保育の質”の低下や継続性が失われては困るのである。

やむを得ぬ事情により一刻も早く預ける場所を確保せいとの声には真摯に向き合うべきだが、単に子どもの面倒を見るのが億劫なだけではないかという事例もある。

保育所の入園には幾つかの基準があるが、夫婦共働きを最低条件に優先順位が決定する。

そうなると、小さいうちは家で育てたが、少し大きくなったから子どもを預けて働きに出ようという家庭には不親切になってしまう。

麻生区は専業主婦の割合が35.4%を占める。待機児童の解消とともに、家庭での子育て負担を軽減する為の施策の充実も忘れてはならない。〔山崎なおふみHP“なのおログ”より抜粋〕



山崎なおふみ プロフィール

- 昭和48年生まれ。36歳
- 明治大学理工学部卒
- 妻と2人の子どもの4人暮らし
- 趣味は俳句とクラシック
- シーズンには42.195kmのフルマラソンを走る

事務所からのお知らせ

山崎なおふみ事務所では現在、学生インターンを募集しています。市民に一番近い地方議員の仕事にボランティアを通じ触れてみませんか？

詳細はHPよりアクセス下さい。

☑でも受付 (naofumi.yamazaki@nifty.com)

ブログ毎日更新中!

パソコンからは…



ケータイからは…

右のQRコードを携帯で読みとりページにアクセスすれば見られます



山崎なおふみ

検索

